Interview

デザインはイメージ通り。性能は予想のはるか上。

N様ご夫妻

今が、ベストなタイミング！逃さない！

妻の実家を建て替えて、1階を両親と祖父、2・3階を私たちの居住にしました。結婚後は古い一軒家をリフォームして住んでいましたが、長女の就学前に新しい家を建てたいねと皆で話していて、調べた結果、今なら火災保険に入る際に優遇が得られるし、「住宅エコポイント」もつく。税制面での優遇もある。それなら少し時期は早いけれどこのタイミングで建てようということになりました。金利は安い方がいいし、長い目で考えるといい時に建てることができたと思います。「住宅性能評価」や「長期優良住宅」については、家を建てる時に初めて知りました。お願いしたA社さんは、すべての住まいに「住宅性能評価」と「長期優良住宅」を標準装備している会社。何棟も建てている実績もあるし慣れてらっしゃるので、お任せしてよかったと思っています。

ポイント！

「住宅性能評価」や「長期優良住宅の認定」を受けるメリットには、期間限定のものもあります。省エネ住宅に対する「住宅エコポイント制度」や「長期固定住宅ローン」「フラット35S」の金利優遇措置などは、平成23年12月まで延長が決定しました。

地震が多い地域だから、こだわった耐震性。

僕のこだわりは間取り。広いリビングと南側のお風呂。これは絶対譲れなかった。あと、風通しの良さですね。リビングは広いし、明るいし、吹き抜けで開放感があるでしょう。こどもたちの成長に合わせて、間取りを変えていけるのもうれしいです。吹き抜けで木造3階建てですから、初めは強度的に心配でね。しかも地震が多い地域なので、耐久性、耐震性は特に重視しなくてはならないし。でも建物の強度と耐久性について詳しく説明していただき納得。「住宅性能評価」でも高評価だったので、さらに安心感が増しました。基礎工事でコンクリートの中に鉄筋を配置するのですが、その密度の濃いこと。今まで見たどの住宅よりも強固な感じがしました。基礎は出来上がってしまうと見えないから、どうなっているか素人ではわからない。「住宅性能評価」では設計と施工の2段階で評価してくれるので、信頼度が違いますね。

ポイント！

「構造の安定」の項目は最高の等級3。住宅の基礎部分を強化し、耐震性、耐久性の対策が十分に取られていました。

正確に計算された密度の濃い基礎配筋

光熱費が半分に！それも2世帯併せてですよ！

家が新しくなって、一番驚いたのが光熱費の違い。初めて冬を越してわかったのですが、以前住んでいた家のガス・電気代の合計より半分に。しかも2世帯分の光熱費を併せた額！エアコンをガンガンかけなくても暖かいなぁ。一度暖めた空気が冷めないなぁとは思っていたんですが、数字として表れると実感しますね。一軒家の寒いイメージが覆されました。あとは結露ですね。以前は窓がビショビショになって掃除も大変だったけれど、この家は結露がほとんどない。結露って何だっけ？という感じです(笑)。

ポイント！

「温熱環境」の項目は最高の等級4。優れた断熱性能により、冷暖房費の省エネを実現しています。また「光・視環境」の単純開口率は33%ですが、方位別で見ると、南が56%、東が32%となっており、採光を重視したつくりということがわかります。

メンテナンスの不安？もうありません。

家は建てる時だけでなく、維持にも費用がかかるんですよね。仕方のないことだとわかっていてもやっぱり心配。その点、維持保全計画書に基づいて10～20年後のメンテナンスをお任せできるのも安心材料の一つでした。A社さんとは長くいいお付き合いをしていきたいです。

ポイント！

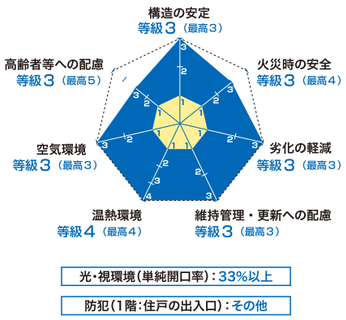
維持管理・更新への配慮も最高の等級3。さまざまな配管を一か所にまとめた点検口など、メンテナンスがしやすいつくりです。また長期のメンテナンス計画が建築当初から考えられているため、いつ、どのくらいメンテナンス費が必要なのかわかり、将来を見据えた資金繰りができるようになっています。

メンテナンス性の高い集中配管

【工事施工者 A社】より

ぬくもりのある木の家をつくりたい、そして解放感のある吹き抜けと耐震性は譲れないというN様の夢を形にすることができてホッとしています。安心して住めることはもちろん、資産価値のある家を持っていただきたい。そのために「住宅性能評価」や「長期優良住宅」という制度は必要不可欠だと思っています。「住宅性能評価」や「長期優良住宅」がスタンダードになる。そんな時代に早くなってほしいです。

住宅性能評価レーダーチャート



建設住宅性能評価書

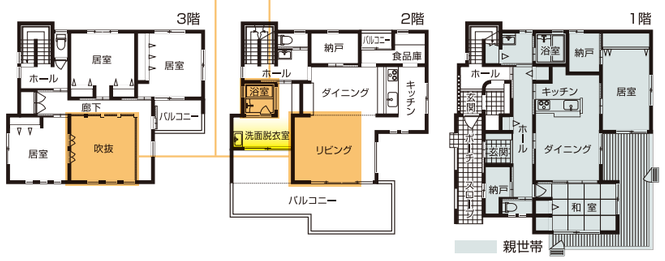
設計住宅性能評価書

長期優良住宅認定通知書

No.02 静岡県 N様邸

家族構成　夫婦＋子供３人＋父母＋祖父

吹抜けになっているリビングは３階部分にある窓からの光がやさしく降り注ぐ。

南側はガラス張りになっており、開放感のある浴室はご主人こだわり。

間取図